



発行：岐阜大学保健管理センター
TEL：058-293-2174 FAX：058-293-2177 E-mail：hokencen@gifu-u.ac.jp



海外旅行・留学前の感染症予防！



海外では、日本でかかることのない感染症にかかる恐れがあります
安全な旅行・留学が出来るように、感染症に関する知識と予防方法を知りましょう

海外で注意すべき感染症



●人からうつる感染症

麻疹・風疹・水痘・おたふく・
髄膜炎・インフルエンザなど
主な国…世界各地で流行
・いずれも感染力の強い病原体ですが、予防接種で防げるものがほとんどです。母子手帳を確認し、必要な予防接種準備をしましょう。
※保健管理センターで相談してください



●動物からうつる感染症

狂犬病・鳥インフルエンザ・MERS など
主な国…日本、英国、スカンジナビア半島以外の地域
・上記を除いた全世界で狂犬病が発生しています。初発病するとほぼ100%死亡する極めて危険なウイルス性人獣共通感染症です。犬だけでなく、アライグマ、キツネ、コウモリなども感染源です。世界中で毎年5万人のヒト、十数万人の動物が発病死していると推測されています。
※野生動物はもちろん、飼われている犬や猫にも近づかないようにしましょう。

●飲み水・食べ物からうつる感染症

コレラ・赤痢・腸チフス・A型肝炎など
主な国…南アジア、東南アジア、アフリカ、南米など
・水や食品が様々な病原体に汚染されていることがあります。
※ボトル入りの飲料水を飲みましょう。生ものは避け、加熱した料理を食べましょう。海外の屋台は、現地の生水が使用されていることもあるため注意が必要です。



●蚊が媒介する感染症

デング熱・ジカ熱・マラリアなど
主な国…東南アジア、中南米、南米、アフリカなど
※流行地域では、蚊に刺されないよう長袖・長ズボンを着用し、肌を露出しない服装を心がけましょう。また虫よけ剤や殺虫剤も使用し対策をしましょう。



海外渡航前の準備

①渡航先の情報収集

渡航先でどのような感染症が流行しているか詳しく調べましょう



②予防接種

渡航先によって推奨される予防接種が違います。余裕をもって、3ヶ月以上前に医師に相談をしましょう



ぜひ保健管理センターへご相談ください

③現地で生活するための持ち物

虫よけスプレーや手指消毒用のアルコール剤、常備薬など必要なものを準備しましょう



帰国後に体調不良があったら

①帰国時に発熱や下痢などの症状がある場合や、蚊に刺された、動物に噛まれた場合は空港や港の検疫所で検疫官に申し出てください。

②帰国後に発熱や下痢が現れた場合は、速やかに保健管理センターか医療機関で相談してください。その際、海外渡航歴があることを必ず言ってください。医療機関には事前に電話で確認してください。

感染症には潜伏期間が長いものがあります
帰国後1ヶ月後程度は体調変化がないか特に気をつけてください



感染症予防をして素敵な海外渡航を！